

5月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1

Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

【新型コロナウイルス蔓延防止に伴うお知らせ】

各種祭典神事および行事に関しまして、県下蔓延防止等重点措置実施に伴い、規模を縮小・中止等変更して行います。ご予約をされているみなさまにはご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。なお詳細につきましては、当神宮ホームページをご参照の上、お問い合わせください。

【1日(土)午前10時30分 舞楽神事】 拝観中止

神楽殿前庭に舞台を設け、当神宮職員及び熱田神宮桐竹会（祭典の奏楽奉仕団体）会員の奉仕により、舞楽を熱田大神様に奉納します。演目は舞の振銚(えんぶ)・承和楽(しょうわらく)・仁和楽(にんならく)・甘州(かんしゅう)・林歌(りんが)・迦陵頻(かりょうびん)・散手(さんじゅ)・貴徳(きとく)、曲のみの長慶子(ちょうげいし)です。

【4日(火)午後7時 醉笑人神事】 拝観中止

この神事は、故あって天智天皇7年(668)から皇居に奉斎されていた草薙神剣が、天武天皇朱鳥元年(686)に再び当神宮に還座されたのを、社中挙って歓喜笑樂したという故事を今に伝えるものです。

【5日(水)午前10時 神輿渡御神事】 神輿の渡御中止

この神事は、草薙神剣が皇居から当神宮に還座された時の御神託にもとづいて、鎮皇門から都の方を御覧になって皇城鎮護のお祭りを齋行した故実を今に伝えるものです。皇室の御安泰と国家の隆昌を祈念致します。

【8日(土)午前8時 豊年祭】 花のとう(苗や植木市等露店)出店有

この祭典は、日本武尊が御東征の折、当地方に農耕・養蚕・培綿の技術を伝えられた御神徳を称えるものです。県内各地の農業関係者等は、祭典後西楽所に奉飾された畑所と田所の「おためし」(模型)と、頒布する豊年絵図を見て、自ら今年の作柄を占います。「おためし」は13日までご覧いただけます。

【9日(日)午前11時 熱田講社春季大祭】 参列者限定

県内を中心に全国各地の崇敬者を結集して組織した「熱田講社」の春季の大祭です。御神徳の宣揚と産業殖産、講員の家業繁栄を祈ります。

【13日(木)午前11時 御衣祭】 参列者限定、稚児中止

御神前に御衣御料(絹布や麻布等)をお供えし、衣料業界の発展をお祈りする祭典です。本年の御衣奉獻使は、(株)近藤紡績所代表取締役社長 近藤大揮氏です。

【31日(月)午後5時 高座結御子神社例祭宵宮祭】 神賑行事(露店含む)中止

「虫封じ」「井戸のぞき」で知られ、子育ての神様として信仰が篤い高座結御子神社例祭(6月1日)の前日に行われる宵宮祭です。このお祭りは、当地方で一番早い夏祭りといわれています。

【4月29日(木)～5月25日(火)熱田神宮宝物展コーナー展「武器と武具」】

当神宮の御祭神は「尚武の神さま」として知られ、御神体が草薙神剣であることから、武運長久の祈りが込められた刀剣をはじめ、武器武具などが献納されてきました。また、かつて神馬が供奉する神事も執り行われていたことから、煌びやかな馬具も収蔵しています。

5月のコーナー展では、当神宮が所蔵する古代から現代に至る武器武具を紹介します。

【重文】古神宝類 朱漆弓、【重文】太刀 銘 宗吉、【重文】太刀 無銘(伝 真長)、

【重文】金銅装唐鞍、【県文】古箎(他展示品数 約60点)

※今後の動静により、開館期間・展示品は変更になる可能性があります。